



雨にも負けず 納涼会盛大に開催 参加者64名

赤荻さん大奮闘

8月2日(日)あいにくの雨となったが、午前中から當間夫妻が中心となって準備を進めて下さり、中でも赤荻洋一さんが腰痛にも係わらず山男の本領を発揮し、大きなテントを庭園に張り、テントの中で女性軍がおにぎりや、すいとんを作ってくれた。100年以上の歴史をもつ長屋門の長い庇につなげてテントの屋根も作り、このテントで雨対策は万全となった。

井手さん・ハーモニカ 高橋文子さん・合唱指導 正樹さんギター

市川彰彦夫妻・息のあったオカリナ演奏

開演と同時にまず井手さんのハーモニカの演奏があり、続いて音楽同好会の高橋文子さんの指導で数々の歌を全員で歌った。ご主人正樹さんのギター演奏「悲しい酒」はまさに絶品であった。その後市川彰彦夫妻のオカリナ演奏がありご夫婦で息のあった素晴らしい演奏であった。故芦田均さんのご夫人も出席頂いたので「千の風になって」を歌い、最後に「故郷」を全員で歌った。ビールを片手にお肉や野菜をほおばり、歓談の輪があちこちに広がり、雨を吹き飛ばし、楽しい3時間があっという間に過ぎ去った。最後は夕暮れの中でみんなで肩を組んで東村山稲門会の歌・早稲田大学校歌を元気に歌い閉会となった。

この会の為に買い物等をして頂いた當摩彰子副会長、滝来京子さんはじめ多くの幹事の皆様に厚く御礼申し上げます。

参加者(敬称略)

会員 35名

青山 稔、赤荻洋一、市川彰彦、一色泰久、井手 巖、江藤昌明、岡田一郎、小野 智、風間和夫、加藤正俊、木谷 肇、倉田哲也、小亀輝雄、小亀信雄、重原真知子、杉山 信、高橋文子、高橋正夫、高鷲 近、滝川桜子、滝来京子、田口政澄、武井勇治、田島隆夫、月森通夫、當摩彰子、當摩照夫、當間昭治、戸田志郎、富塚哲夫、内藤 慎、長井 治、額田伊久夫、福田昇七、安田忠治

ゲスト 2名

平山正徑(東久留米稲門会・会長) 平 克巳(東大和稲門会設立準備委員)

家族 18名

芦田夫人、市川(彰)夫人、小野夫人、木谷夫人、木谷令嬢、倉田夫人、小亀(輝)夫人、小亀(信)夫人・ご子息2人、高橋(文)ご主人、高橋(正)夫人、當間(昭)夫人、お嬢様ご夫妻・お孫さん2人、内藤夫人

学生 9名

バギ(モンゴル留学生)、スヘ(モンゴル留学生)、當間瑛理子(教育4年 當間氏の姪)

井上大輔(法1年)、大竹雄也(教育1年)、池田沙織(商1年)、大谷仁美(文化構想1年)

会見春香(教育2年)、池上竜也(政経2年) 早稲田祭2009運営委員

当日は早稲田祭2009運営委員の学生が参加し、皆様に早稲田祭の寄付金をお願いしましたが、当日分並びに役員会分を合わせて72,300円の寄付を頂きました。ご協力に心から感謝致します。



東村山稲門会の納涼会に参加して

会見 春香
早稲田大学教育学部2年
「早稲田祭2009」運営スタッフ

8月2日(日)午後4時より、東村山稲門会副会長の當間邸の庭園で東村山稲門会の納涼会が盛大に開催されました。当日はあいにくの雨でしたが、会が始まるころは丁度降り止み、またテントを張って下さったので天候は気になりませんでした。なごやかな雰囲気の中、広いお庭でBBQや、すいとん等をご馳走になりました。途中、音楽同好会の方々によるハーモニカや声楽にオカリナ、さらにギターの演奏があり、宴も酣に。

「夏の思い出」「われは海の子」など夏の歌を同好会の方の伴奏で歌いました。さらに當摩彰子副会長のご提案で、学生も早稲田大学応援歌「紺碧の空」を歌わせて頂きました。今回が初めての稲門会の訪問である学生もおりましたが、先輩の方々に話しかけて頂き、学生全員本当に楽しい時間を過ごさせて頂きました。最後は小亀会長の音頭で「東村山稲門会の歌」「早稲田大学校歌」を全員で斉唱し、夏の暑さも吹き飛ばす早稲田熱を体感いたしました。また当日は早稲田祭へのご支援にも多大なるご協力を賜りまして、本当に有難うございました。

 会からのお知らせ

○ 10月度定例役員会

日 時： 10月10日(土) 13:00～16:00

場 所： 市民センター別館第4集会室

役員会の前にニュース封入作業があります。

会員の方はどなたでも参加できますので、是非お出でください。

○ 10月度お誕生会(担当幹事 南湖 TEL 390-2287)

日 時： 10月10日(土) 17:00～19:00

場 所： 割烹「丸藤」久米川駅南口から徒歩1分

電話042-395-5646

会 費： 3,000円

☆ 10月度お誕生の方々(敬称略 13名)

五十嵐勝雄、上 幸雄、木原晴彦、久保栄二、滝来京子、中川俊郎、奈切秀雄、森田光夫、町田和夫、渡辺利則、小永井哲哉、安藤 清、出田邦博

☆ ご出席希望の方、また、誕生月該当者で、上記されていない方、担当幹事までご連絡ください。

他稲門会等のニュース

○ 武蔵野稲門会会長交代

新会長 谷内隆衛氏(轟 常弥氏は退任)

○ 早稲田大学不動産稲門会創立15周年記念講演会

9月15日(火)午後4時 大隈小講堂

講演：広岡達郎氏(野球評論家) S29・教育学部卒業

演題：「私の野球人生」 入場無料 (チケット希望者は事務局まで)

○ 三多摩地区の稲門会未結成地区への支援

2010年の校友会125周年の記念すべき年に向け三多摩26市のうち稲門会未結成の東大和市・武蔵村山市・羽村市の三市の稲門会立ち上げに校友会でも協力することになり、小亀会長が東大和市の担当となりました。

○ 早稲田大学「代議員会」の開催

9月26日(土)、午後4時より大隈講堂で開催されます。「2008年度決算承認の件」

「2009年稲門祭の件」などが討議される予定です。……風間・當摩彰子・高鷲が出席予定。

本年度総会は下記の通り行います。総会は年に一度の大切な会議です。
多くの会員の皆様のご出席をお願いいたします。
(同封のはがきで出欠をお知らせ下さい。)

東村山稲門会第14回定時総会

日 時 平成21年11月14日(土)
場 所 菊水宴会ホール
久米川駅北口(昨年と同じ)

第1部 東村山稲門会定時総会 14時～15時15分

第2部 記念講演(第65回雑学講座) 15時30分～16時40分
講 師 安田忠治氏(当会会員・元国立高校校長・元早稲
田大学客員教授)
演 題 未 定

第3部 懇親パーティー 17時～19時

《大学のニュース》

● 高等学院に中等部開校

本学の付属校では初めてとなる中等部が2010年4月開校します。定員は1学年120名を予定、1クラス30名の少人数教育を行います。また、高等学院と連携して中高一貫教育にふさわしいカリキュラムを準備中です。現在新校舎の建設も進んでいます。

● 理工分野での更なる貢献を目指し、新たに2機関と包括協定を締結

- ① 本学と東京都市大学は、教育・研究活動の交流と連携の推進を目的とした包括協定を締結しました。現在、検討を進めている具体的な取組みは、原子力分野に関する共同大学院「共同原子力専攻」の設置、および「未来エネルギー大学院フォーラム」の設立です。
- ② 本学は宇宙航空研究開発機構「JAXA」と、我が国の学術研究、教育の発展、宇宙及び宇宙航空科学技術の発展に資するため連携協力協定を締結しました。

8月度「お誕生会」報告

HAPPY
BIRTHDAY

担当監事：南湖修一 390-2287

8月度「お誕生会」は、当月にお誕生日を迎えられる方々14名中5名の他役員などに加え、当日の雑学講座の清水講師と紅一点の田中インストラクターにもご参加いただき、総勢19名で、いつもの丸藤で17時30分に開始された。まず小亀会長のお祝いの言葉、風間副会長の誕生月を迎えられた方々のご紹介と乾杯の音頭によって始まった。しばらく歓談の後、会長から誕生月の記念品を一人ひとりに贈呈し、該当者からはお一人ずつコメントを頂戴した。

まず、今月62歳という阿部茂さんは、生れも育ちも高田馬場ということで、囲碁、ウォーキング、カラオケの各同好会を中心として稲門会活動を満喫しているとのこと。次の南湖修一さんはこの29日で満60歳になること、息子は頼りにならないので息子のお嫁さんに還暦祝いを期待していることなどを語られた。

8月9日長崎原爆記念日生まれという番場吉次さんは、13年前の当会発足時からの会員であること、現在油絵にてご活躍であることなどをご披露された。

この誕生日で74歳となられる福田昇七さんは、当会に入って4年目であるが、今後は積極的に会の中で活動していきたいとの抱負を述べられた。

病に打ち勝ちお元気になられた山下邦康さんは、昭和32年当時の現役時代を振り返り、日経新聞社でアルバイトをしていた当時の思い出を語られた。

特別参加の雑学講座講師をお願いした国分寺稲門会幹事長の清水さんからは、当会のまとまりの良さに感心し、羨ましいとお言葉を頂戴した。

本日わざわざ写真撮影のためだけにお越しいただいた赤荻さんによる記念撮影も順調に進み、19時も近づいたところで、小亀会長の音頭により、「東村山稲門会の歌」、「早稲田大学校歌」を全員で斉唱、當間昭治副会長の締めの後、散会となった。

第64回雑学講座



「紅茶の話あれこれ」

平成21年8月8日
ふるさと歴史館 視聴覚室

日本紅茶協会専務理事
清水 元

国分寺稲門会幹事長の清水氏とは、昨年の稲門祭での実行委員として交流が始まり、今回雑学の講師をお引受けいただきました。

世界の茶の需給状況だが、生産・消費とも中国とインドで全体の5割強。我国の生産は全て緑茶で、紅茶はスリランカからの輸入が6割。ブランド名はおなじみの「セイロン紅茶」である。本題に入り「紅茶にまつわる12の扉」をお話いただいた。まず「お茶の歴史と普及」。我々にとって身近な達磨大師が、面壁9年の修行中5年目に眠気をもよおし、傍の木の葉を噛んだところ眠気が去り、不眠の苦行を成し遂げたというのは、よく知られた話である。我国では、12世紀頃源実朝を中心とした武家社会で飲まれ、その後武士、一般に普及していった。世界的にみると飲料習慣は1,800年の歴史がある。

茶は製茶法からみて、発酵の程度の違いにより、発酵させないもの—緑茶、発酵させているもの—紅茶、半分程度発酵させているもの—烏龍茶であり、紅茶の木や緑茶の木があるわけではない。

紅茶、コーヒー、ココアの三大嗜好飲料はカフェインを含有しているのが共通。又、紅茶と砂糖は普及し始めた17世紀には、薬屋で扱われる貴重な「薬品」であった。紅茶に砂糖を入れれば二重の効果が期待できるわけで、高貴な身分の人々には文句なしの「ステイタス・シンボル」であった。特にイギリスでは、東インド会社が中国茶を輸入するようになった18世紀初頭、砂糖とも相性がよく緑茶の渋みもなく、肉食主体の食生活において脂肪・蛋白質の消化を促進し、口中の脂肪分を切ってくれる紅茶に関心が深まっていった。本格普及は19世紀であり、従って紅茶としての本格的な歴史は、せいぜい250年くらいである。我国にも1906年に英国銘柄紅茶「リプトン紅茶」が輸入された。(本日お土産にいただいたのは、その原形の「青缶」です。)

今ではおなじみのティーバッグは、「紅茶の茶殻の処理が手早くできれば」という発想から、最初イギリスで考案された。我国には1961年(昭和36年)西ドイツから輸入され急激に需要拡大、紅茶普及に大きな役割を果たした。

最後に「紅茶の正しい飲み方」・・・イギリスを中心に欧米では、カップの取っ手は右側(お茶は右手、お菓子は左手)カップの花柄や風景は取っ手が右に来たときに、絵が客の目から正面になるように製作されている。

続いて、ご子息が早実中等部というシニアティーインストラクターの田中公子さんに、「おいしい紅茶の入れ方」を実技指導いただいた。最初に「アイスティー」を参加者全員にふるまわれた。今まで味わったことのないような、すばらしい味。次にリーフティーとティーバッグでのおいしい入れ方。ポイントは沸騰直後の熱湯を使うということ。フルーツセパレートティー・梅酒を使ったアイスティーも実演いただき、一同その色合いの見事さに感嘆の声があがった。



講演・実演で残念だったのは、時間が足りなかったこと。特に「実演はこの倍の時間がほしかった」と参加者のある女性が帰りがけに話していました。

参加者は予想を上回る51名。用意いただいたおみやげの「紅茶セット」もたいへん好評で、物心両面からたいへんご配慮をいただいた清水・田中様に、深く感謝いたします。



(當間昭治 記)

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407
土橋雄次 393-5708

第15回ウォーキング「根川緑道を歩く」を下記要領で行います。
事前の申し込みは不要ですので、当日ご都合のつく方はご参加ください。小雨決行。

- 1) 集合日時 : 9月26日(土) 午前9時30分
- 2) 集合場所 : 東村山駅 国分寺方面ホーム中ほど
- 3) 行程 : 国分寺—立川駅(電車)—諏訪神社—普済寺—根川緑道—
日野の渡し跡—立川公園—根川貝殻坂橋—矢川緑地—西国立駅
(歩行時間約2時間)

多摩川と平流する清流の流れる根川に沿って歩きます。

参加費無料。但し交通費、昼食、飲み物は各自負担。雨天の場合は8時半までに世話人までTELにてお問い合わせください。



第14回ウォーキング記 (7月25日)

「水と緑あふれる野川流域の武蔵野を歩く」はこの時期には珍しい涼風が心地よく吹きぬける曇り空の下、緑陰コースを中心に多摩駅から出発、多摩墓地では北原白秋、三島由紀夫、与謝野鉄幹・晶子の墓を詣で、そのあと、武蔵野公園からはけの道(国分寺段丘崖)をたどって、緑の染み渡るような野川公園の清流沿いの道をウォーキングし、160年間にわたって続く峯岸家の古民家と水車を、係りの人の説明を受けながら見学、木工の精密な技術に驚嘆(水を利用した連続式木臼の作動)そのあとは龍源寺の近藤勇

の墓と生家跡を見て、多摩駅に戻りました。全コース、約7.5キロの行程でしたが、ゆっくりと快適な半日となりました。

(高橋記)

参加者：阿部夫妻、土橋、松永、三宅夫妻、高橋(敬称略)

俳句同好会(稲酔会)

世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934

第45回「稲酔」句会が8月29日(土)午後1時から恩多ふれあいセンター多目的室で開催されましたが、ニュース原稿の締切りに間に合いませんので、本号での報告はありません。

次回第46回「稲酔」句会は10月24日(土)午後1時から恩多ふれあいセンター多目的室で開催予定です。

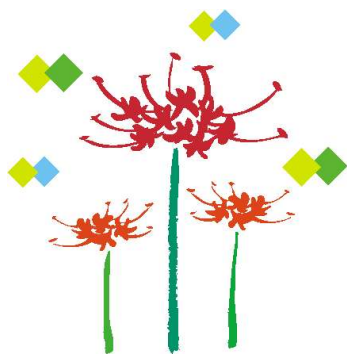
嬉しいお話を二つ。

①ニュースの「俳壇」に、戸田志郎さん(昭43法)から、2句のデビュー作を投句頂きました。これからおおいに勉強されて人生折々の句読点として、俳句とおつきあい下さい。

②稲酔句会メンバーの八木竜湖(勝利)さん(昭47政経)の句
踊りゆく手足が渦を起しけり 竜湖

が8月18日(火)付読売新聞俳壇、宇田喜代子選に入選。
おめでとうございます。

百花斉放の感ある稲酔会です。あなたの入会をお待ちしています。
(稲雀 記)



カラオケ同好会



世話人 内藤 慎 TEL 393-5071

8月例会を8月8日開催。ハーモニカの井手さんが初参加されレパートリーの豊富な中から5曲を披露。長年音楽に親しんで来た成果に全員拍手。参加は井手さん、井垣さん、阿部さん、高部さん、高鷲さん、滝川さん、南湖さん、内藤の8名。蒸し暑い夜でしたが暑さに負けず歌いまくり元気に満ち満ちた一夜でした。皆様の参加をお待ち致します。

今後の予定

9月 5日 (土) 17:10 カラオケランド ズー
10月10日 (土) 17:10 カラオケランド ズー

囲碁同好会

世話人 福田 晃 TEL 394-0593
高鷲 近 394-2336

●「第19回夏季囲碁大会」は、8月15日(土)、午後12時30分より市民センター別館で開催されました。当日は、お盆と重なったためか、参加者がいつもより少なかったが、10名が参加して熱戦が繰り広げられた。今回は、抽選により「紅組」「白組」に分かれてのリーグ戦でしたが、紅組では丸本さんが、白組では佐久間さんが共に3勝1敗で、見事優勝しました。優勝されたお二人の棋力の充実ぶりが目立つ大会でした。

<参加者/敬称略> 「紅組」…佐野・丸本・田島・江藤・高鷲 「白組」…野村・福田晃・一色・田代・佐久間

○次回の「例会」は、10月を予定しています。詳細については、次号でご案内します。

園芸の会

世話人 當摩 照夫・彰子 TEL 396-3033



8月18日(火)にサギ草の開花株を持ち寄り恒例の品評会を行いました。今回は初参加の福田さんをまじえ、総勢14人のメンバーが集まりました。このところ毎度話題となる天候不順のため、藤澤リーダーをはじめとしてそれぞれ大苦戦で、全滅の憂き目にあった方も出る始末。特に開花時期に大きなばらつきが出て、とくに咲いてしまった當間さんやまだこれからの人もいました。

そんな中で、今回は長井夫妻が健闘され、見事1位を獲得しました。続いて土橋さん、高部さんの順でした。結局は手入れの思い入れの強さが大事で、藤澤さんの、一の肥やしは主の足音、と言う話に一同納得でした。

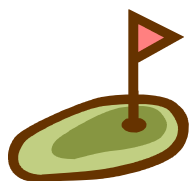
次回は11月の初旬に、秋の草花苗交換会を行います。日程が確定し次第連絡いたします。

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934

第26回09年秋季東村山稲門会ゴルフコンペがいよいよ近づいてきました。

記



開催月日 : 平成21年9月27日(日)
開催場所 : 西武園ゴルフ場
スタート : アウト8時35分 アウトから5組
費用 : プレー費18,600円(昼食付き)
(70歳以上の方1,000円割引)
参加費 : 4,000円(賞品・パーティー費)

参加される同好会員は、本号に同封のはがきにご記入の上世話人宛ご連絡ください。

9月中旬に組み合わせ、競技内容等詳細案内を別途差し上げます。ご家族や知人の同伴も歓迎申し上げます。(井垣記)

音楽同好会

世話人 高橋文子 TEL 393-2676



8月2日の納涼会におきましては、出席の皆様のご協力のもと、多くの歌を歌うことができました。ハーモニカやギターの伴奏による屋外での合唱は解放感のある楽しいひとときでした。

さて9月の例会は 9月27日(日)午後2時より恩多ふれあいセンターにて行います。中秋の名月や秋の虫たち、空や風・・・秋を感じさせてくれる曲の数々を歌っていきます。

歌いたい曲のある方は世話人まで。

テニス同好会

世話人 當間昭治 TEL 391-6023



8月の例会は1日(土)久米川コートで実施予定でしたが、コートコンディション不良で已むなく中止となりました。心配だった為、前日スポーツセンターに出向き翌日の様子を確認、その時「このまま雨が降らなければ使用できます」と回答を得たにもかかわらず、上記の結果。役所体質に憤りを感じました。

気を取り直し、9月と10月の予定をご案内します。

記

日時	9月19日(土)	午前11時～午後1時
	10月24日(土)	午前11時～午後1時
場所	両日とも久米川コート3	

私のサッカーとの出会い



長井 治 (S29法)

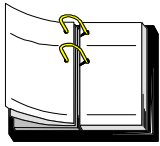
私は現在78歳、この歳まで生きていくと色々な事に興味を持ち、色々なものに首を突っ込んだものです。クラシック音楽の鑑賞、喇叭の吹奏、柔剣道などは戦時中の中学でゆるされていた部活で、私も興味を持ち入部し放課後に随分練習したものです。然し、戦後は柔剣道・薙刀など日本古来のスポーツは進駐軍の指示で廃部とされ私の剣道の防具一式も廃棄するはめになってしまいました。余談ですが、終戦の時父は応召で不在、母と妹三人は父の里であり祖父母が居た山口市に疎開して半年ばかりの頃でしたが、おもちゃのような防具ですら廃棄処分されたのに山口のようにむかし武士だった旧家が多いまちには日本刀がごろごろしており、私の家でも6～7本、私も既に1本貰っていましたが、これを進駐軍・役所がほっておくはずが無く国へ差し出すか、登録することになったので私の分は登録し残りは総て金やすりで30センチぐらいに切り、それぞれ柄をつけナイフ・包丁・鉈にしてみました。今思うと惜しいことをした。

山口市に疎開をしたのが終戦の年の3月ごろでしたが、疎開して間もなく元の住み家(兵庫県芦屋市)は爆撃で丸焼けになってしまった。

山口での中学2年への編入先は県立山口中学だったが転校して1ヶ月もせぬうちに学徒動員で下関近辺と川棚温泉近辺の小山をくりぬき下関港と日本海側海岸奪取を狙う敵を殲滅する為の陣地工作に狩り出された。然し、慣れない労働の毎日で体調を崩す生徒が続出し、私も2ヶ月もせずに定期健診にひっかかり家に帰された。山口に帰されても殆どの学生はまだ動員中なので学校は休校のまま。毎日することも無く未だ良く知らない市内を素足に藁ぞうり履きでうろつきまわっていた。其の日も日課の如く歩きまわり、石垣に囲まれた堀の上に立つ山口高等商業専門学校の向かいに有る山口中学校のグラウンドでぼんやりとひと休みをしていた。と、突然市内唯一の繁華街にある下駄屋の御曹司である野上さんが大きなボールを持って現れたと思うとポイッとボールをほうり投げると足でボールを右に左にと転がしながら走りだした。あとで彼に聞いたのだが、この球技は「ア式蹴球」という事を知った。以後、毎日素足でボールを蹴り血だらけの足の日が続いた。

この日が私のサッカーとの出会いの日となりました。懐かしい私だけの思い出です。

今月の行事（9月）



- 3日(木) 食べ歩きの会
 5日(土) 9月度役員会
 お誕生会
 カラオケ同好会
 6日(日) 麻雀同好会
 19日(土) テニス同好会
 26日(土) ウォーキングの会
 27日(日) ゴルフ同好会
 音楽同好会

10月前半の予定

- 10日(土) 10月度役員会
 お誕生会
 カラオケ同好会



編集局だより

○「2009年稲門祭」記念品販売の御礼

「稲門祭」は、10月18日（日）に開催されます。これに伴い、「稲門祭記念品」の販売を会員の皆様にお願ひしましたところ、割当額（13万円）をこすご協力をいただくことができました。かなり強引にお願ひしたきらいもありますが、厚く御礼申し上げます。

なお、福引券の抽選結果につきましては、担当の高橋正夫・高鷲が責任をもって確認します。小亀会長・風間副会長にも立ち会っていただく予定です。良い結果（乗用車や海外旅行券など）を期待したいものです。（高鷲）

○次号の原稿締め切りは9月25日（金）です。よろしくお願ひいたします。（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

日蝕を待ち侘びし子に戻り梅雨
 参道の読み難き古碑木下闇
 幸田 瑞雄

小永井 哲哉

曳きあげて舟乾く夜の月見草
 手花火や童話に多し月のこと

高部 糸行

芋の葉に旬盛りそなえ盆支度

内藤 慎

トニツクの秋暑のしづく目にせまる

多摩の里かなかな三声日は西に

神楽坂日傘まわしつ坂登る

丸本 北窓

夏の蝶ひとりはしゃぎて日の暮るる
 ひとり聞くみんなみん蟬の輪唱を

八木 竜湖

犬が斜に構へて走る青田道
 炎天の川音に踊る釣の浮子

栗島 三郎

気怠げに花訪ふごとく夏の蝶
 ペイネの絵見て湖の夏終る

井垣 稻雀

オロオロの賢治の夏を過ぎしけり
 暴発をつなぎ止めてる百日紅

風間 和夫

ここだけの話簾を通り抜け
 啞蝉と過ぎす一夜の田舎宿

菊田 一平

青ふくべ暗きところにいうれい画
 なさけなき顔や夜涼のいうれい画

戸田 志郎

雨あがり鍛冶谷ぬけると花菖蒲
 稲光アジサイゆれて鯉の口